

	<コラム1> 板橋市場における	
--	------------------------------	--

	徹底したごみ減量作戦を紹介します！	
--	--------------------------	--

きれいで清潔な板橋市場

板橋市場は、11市場のうち最も清潔な市場を自負する市場です。

板橋市場では、廃棄物や場内道路交通、場内衛生の保持などに関し、「板橋市場における市場業務に係る運営規約」を定め、場内業者はもちろん、場外の業者に対しても、その取組の遵守を求めています。

この板橋市場のごみ減量化の取組は、他市場の取組の参考になるものと考えられるので紹介します。

取組は会社トップのリーダーシップと現場主義!!

板橋市場では、場内に事業活動の本拠を持たない売買参加者が多く、市場内の清潔の保持や環境対策の必要性を認識してもらうことがなかなか難しい状況にありました。

こうした状況に対し、個人ではなく、卸会社のトップや協会の幹部が毎朝巡回してごみを拾い、現場で問題を発見したらその場で指導する取組を行いました。こうしたトップのリーダーシップ、会社組織を活用した組織的対応、そして現場主義の徹底により、次第にその取引事業者への理解も進み、他社の取組へも大きな影響を与えるようになりました。このような波及効果の拡大により、市場全体が環境を意識するようになり、取組が進んでいったのです。

(1) ごみは持ち帰ることが原則です

場内で発生したごみは、持ち帰ることを原則としています。立て看板などを利用して、貨物自動車の運転者等へ協力を呼びかけています。持ち帰りができない場合に限り、集積場へ搬送することとしています。

集積場に排出する際には、指定のごみ袋を使用します。また、集積場には、常時人を配置して、ごみの出し方をきちんと指導しています。

可燃ごみ、発泡容器、その他のごみについては、適宜排出量が記録されています。また、発泡容器の場合には、排出者と排出量も記録するなど、いたずらに廃棄量が増えないような取組がされています。



分別の徹底されたごみ集積場

(2) 不法投棄は許しません

不法投棄は、種ごみと呼ばれる一部の投棄ごみが次のごみを呼び寄せて起こることから、最初にごみを捨てさせない取組が重要です。

そこで、監視カメラを設置し、それを卸売場から常時監視しており、不法投棄を発見した場合には、直ちに放送による警告・指導を行い、投棄を未然に防いでいます。

また、環境指導員が定期的に巡回を繰り返し、ごみを出させない雰囲気を作り出しています。

環境指導員が日々巡回しています

市場協会や都職員など、約 50 名を環境指導員として指名し、場内の衛生環境を保持するため、日々定期的な巡回を行っています。

不法投棄や持込ごみを廃棄させないため、早朝から何度も巡回を行っています。環境指導員は、黄色の腕章を着用しています。



環境指導員が着用する腕章

事業者ごとにごみ排出量を記録します

廃棄物の量を減少させるには、ごみ袋の有料化などの取組だけでは不十分であり、さらに排出者責任を徹底させ、誰がどのくらいの廃棄物を排出しているかを把握することが重要です。

板橋市場では、ごみの排出量をきめ細かく記録しており、どの事業者がどの程度のごみを排出しているのかが把握できるようになっています。

ごみの排出は時間制です

発泡容器については、市場内の発泡溶融機により溶融固化していますが、その稼働時間を大幅に短縮するとともに、受付の時間についても絞込みを行っています。また、ここに排出される発泡スチロール容器については、その排出者と排出量が明確にわかるようになっています。

ごみ集積場を有効活用しています

タケノコの缶は、そのまま廃棄せずに専用の機器を用いて小さくたたんで排出しており、省スペース化ときれいな集積場づくりに貢献しています。

今後の取組

板橋市場では、自動販売機についても再生利用が可能な紙コップ化を検討するなど、リサイクルが可能なものは、すべて積極的にリサイクルを進めていく方針を立てています。

(3) 市場は常に清潔を保ちます

場内では、卸売場、仲卸売場、関連事業所内は禁煙とし、その他の場所においても分煙化を進めています。また、たばこの投げ捨てを禁じています。

このほか、段ボールの底や蓋に使用される金属性の留め金についても、磁石を用いた特殊台車を製作し、鉄くずの回収を行っています。

また、清掃機器を用いて塵ひとつない清潔な卸売場としている会社もあります。